

発達障害児早期支援システム研究事業について(令和元年度～ 新)

令和元年度予算額
3,500千円(1/2国補助)

1 概要

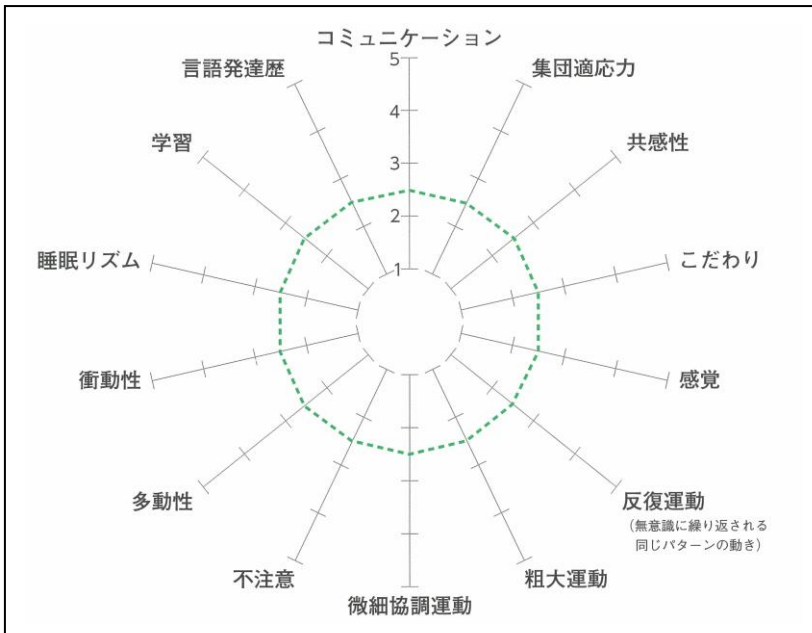
発達障害の特性のある就学前の子どもの早期支援を進めるため、園医健診、かかりつけ医健診、特性評価(アセスメント)の三層構造による早期支援システムの構築に向けた研究事業を行うもの。

2 研究事業について(令和元年度～ 2年間)

項 目	元年度計画
1 特性評価(アセスメント)、早期支援	○ 保育所・幼稚園の年中児(4歳児×4名程度)を対象に、MSPAを活用した特性評価を行い、子ども、保護者、保育士等を支援 ※ 対象児については、療育等の専門的支援を受けている児童から選定
2 特性評価につなぐ健診の仕組み	①保育所・幼稚園の年中児園医健診の項目・様式統一について研究 ②小児科医による二次健診の研究(健診票、マニュアル作成等)
【2年度計画案】 ※ 元年度事業の成果を受けて検討 ○ モデル児童のフォローアップ、就学移行支援 ○ かかりつけ医による二次健診の試行、必要な児童へのMSPA評価 ○ 健診、MSPA評価の事業化に向けた検討	

エムスパ
 (※)MSPA 【開発者:京都大学大学院 人間・環境学研究科 船曳 康子教授を中心とする研究チーム】

発達障害の要支援度評価尺度。その人が困りやすい特性とその程度をレーダーチャートで表示し、支援者等と情報を共有する。



【MSPAのレーダーチャート(例)】

【お問い合わせ】
 北九州市保健福祉局精神保健福祉課
 担当課長：安藤（発達障害担当課長）
 担当係長：高野（事業調整係長）
 電話：093(582)2439 FAX:093(582)2425